

令和2年 第7回 男鹿市教育委員会会議録

1. 日 時 令和2年12月22日（火）午前11時20分～
2. 場 所 男鹿市役所 3階 第1会議室
3. 出席者 教育長 栗森 貢  
委 員 小玉 亜紀子  
委 員 吉田 貴美子  
委 員 三浦 良忠  
委 員 目黒 重光
4. 出席職員 教育総務課長 太田 穰  
学校教育課長 加賀谷 正人  
教育総務課主幹 鎌田 真樹子  
教育総務課主幹 佐藤 延明  
学校教育課主幹 笹淵 美穂
5. 案 件  
議案第21号  
男鹿市立小・中学校再編整備計画について
6. 報 告  
(1) 令和2年12月市議会定例会における一般質問(教育委員会関連)について  
(2) 市内各校のいじめの認知と不登校児童生徒の状況について(12月調査)  
(3) 令和2年度「明日を創る新成人の集い(男鹿市成人式)」の延期について
7. 協 議  
(1) 教育委員会の所管に係る男鹿市公共施設等総合管理計画の第1期個別計画(案)について  
(2) 男鹿市学校施設長寿命化計画(案)について
8. その他  
(1) 男鹿市総合計画について
9. 閉 会

【議事 午前11時20分開会】

○教育長

ただいまから、令和2年第7回教育委員会会議を開会いたします。

本日の議題につきましては、案件が1件、報告が3件、協議が2件となっております。

前回の会議録の承認については、委員の皆様からご署名いただきましたので承認されました。

それでは案件に入ります。初めに、議案第21号 男鹿市立小・中学校再編整備計画についてであります。それでは事務局から説明願います。

○教育総務課長

資料に沿って説明

○教育長

ただいま、事務局より説明がありましたが、このことについて、ご意見がありましたらお願いします。

○小玉委員

計画はホームページに載せるなどの予定は考えているのでしょうか。市民の方にはどういう風に伝えていくのでしょうか。

○教育総務課長

地域の説明会を開き、ホームページなどで市民にお知らせする予定です。

○目黒委員

地域で説明会とのことであるが、北陽小学校については、令和7年度以降となっているが今後検討していくと説明とするのでしょうか。

○教育総務課長

案として地域で意見交換をした時には令和7年4月と考えていたが、非常に地域からの意見があり幅を持たせて以降とした。計画が成立した後、説明会では3つの複式を避けるために早まるかもしれないということも視野に入れながら、明確な時期を明示しないで、計画としたい。

○教育長

子供たちの学びを考え、ある程度の人数のところで学ばせたいという気持ちであるが、地域から学校がなくなることは重大で、子供の学びだけで計画を進められるか迷うところである。議員からは、地域の声を聞きすぎると、統合が遅れ逆に子供のためにならない。子供のことを考えて進めるべきと励ましをいただいた。

教育委員の皆様からもご意見があれば、考えながら進めたい。

○三浦委員

最終的には子供のためである。あまり配慮しすぎても計画が進まないのではないかと。統合の時期を示し、理解してもらうことが必要である。反対しているのは、保護者か、地域の人たちなのか。親は学ばせたい気持ちが強いのではないかと思うが。

統合してもコミュニティスクールでも地域のつながりは続いていく。広いエリアで活かしていくよう授業参観など体験してもらい、理解してもらうなど方法はある

のではないか。

学校訪問では、子供が少ない学校はおとなしい感じがある。地域の方に生徒の多い学校を理解してもらいたい。

○小玉委員

地域から学校がなくなると、家族も転居など考えることが出てくるかもしれない。しかし、3つの複式は学校としてどうなのか。その時点ではっきり統合と言った方がよいと思う。

そうすると美里小学校など10年とは言うものの複式になることがあるかもしれない。複式になる時、親はどんな反応をするのか。どうなったら統合するのか、あいまいで見えない。計画ではっきり統合すると言ってほしい。

美里小も統合校のそれぞれいいところを取り上げて、やっているところがあるので、統合した後も良いところを続けて行ってほしい。

○教育総務課長

北陽小について、市政懇談会では地域の方からはあまり意見がなかった。ということは受け入れてもらっているのか。保護者等意見交換会で地域から学校がなくなるのは寂しいという保護者もあり、リモートでの学習も考えて欲しいという意見も出てきた。地域目線で考え、教育委員会では子供の教育を考えていく。あいまいさもあるが地域の話聞きながら、しっかり説明し理解をもらうために令和7年4月以降という表現にした。

○学校教育課長

令和7年4月を統合適期と考えている。地域にしっかり説明し、現状を理解してもらう。地域からも統合の時期を考えてもらい、双方がいつの時期が納得できる時期かを見い出していきたい。

小学校の前には中学校の統合がある。中学校を先に統合しなければならない。地域として中学校も、小学校も一気になくなることは大変なことと考え、まず中学校の統合を考えている。小学校はまだ令和7年までは期間があるので、適切な時期を見い出していく考えであるが、12月の調査で3複になる時期が早まる状況がある。そこを地域と話し合っていかなければならないが、計画ではこういう表記とした。

○教育長

12月の在籍数の調査でわかったのは、令和4年度には3複になるということで、5年度には解消するが、7年度には3複になる。北部地区の説明会は1月16日に北陽小学校で行うので、その時にはそういうことも話して、理解してもらいたい。

子供たちの格差を是正したいという大きな使命があるので、令和7年4月と言いたいが、地域と確認するためにこういう表現としたことをご理解いただきたい。

そこも含めて、議案第21号 男鹿市立小・中学校再編整備計画については、承認としてよろしいでしょうか。

○委員一同

はい

○教育長

議案第21号は承認されました。ありがとうございます。

次に報告に入ります。

報告（１）令和２年１２月定例会における一般質問（教育委員会関連）についてであります。事務局から説明願います。

○教育総務課長

資料に沿って説明

○教育長

ただいま、事務局から説明がありましたが、このことについてご質問はありませんか。

○委員

ありません。

○教育長

ないようですので、次に報告（２）市内各校のいじめの認知と不登校児童生徒の状況について（１２月調査）であります。事務局から説明願います。

○学校教育課長

資料に沿って説明

○教育長

このことについて、ご質問はありませんか。

○教育長

ないようですので、報告（３）令和２年度「明日を創る新成人の集い（男鹿市成人式）」の延期についてであります。

事務局から説明願います。

○教育総務課長

資料に沿って説明

○教育長

ただいまの説明について、ご意見はありませんか。

○小玉委員

中止で良かったのではないかと思います。この後はどういう流れになっていくのでしょうか。

○教育総務課長

次は令和４年１月に行うこととし、その次の対象者については、いろいろな案があり、検討中です。

○教育長

今年の対象者は１年遅れた形になりますが、次の令和３年度の対象者については、なるべく早い段階で決めて周知したいと考えております。

やると言っていた時には苦情があったが、やめるとなった時には、確認１件だけでした。

報告は以上です。次に協議に移ります。

協議（１）教育委員会の所管に係る男鹿市公共施設等総合管理計画の第１期個別施設計画（案）についてであります。事務局から説明願います。

○教育総務課長

資料に沿って説明

○教育長

今の説明は教育委員会関係施設だけであるが、市の所有する施設はたくさんあり、それだけ経費もかかっているのので、計画的に考えていかなければならない。このことについて、ご意見はありませんか。

○小玉委員

3月で閉園する若美幼稚園は、計画に入っているのでしょうか。

○教育総務課長

若美幼稚園については、健康子育て課の所管として取り扱うこととしております。

○教育長

次に、協議（2）男鹿市学校施設長寿命化計画（案）についてであります。事務局からお願いします。

○教育総務課長

資料に沿って説明

○教育長

事務局から説明がありましたが、このことについて、ご意見はありませんか。

○教育長

ないようですので、次にその他（1）男鹿市総合計画についてであります。事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長

資料に沿って説明

○教育長

ただいま事務局から説明がありましたが、このことについて、ご意見はありませんか。

○三浦委員

「健幸都市」とは、あまり聞いたことがないことばであるが、どういうことでしょうか。

○教育総務課長

健康と幸福をあわせたことばとなっておりますが、前の計画から使っている言葉です。

○教育長

次にその他です。

事務局からはありませんが、委員の皆様から何かありませんか。

○小玉委員

今年の卒業式などはどういう形になるのでしょうか。

○学校教育課長

今の段階では、例年通りの開催予定として進めております。

○教育長

ほかにありませんか。

ないようですので、以上をもちまして、令和2年第7回教育委員会会議を閉会いたします。

**【午後0時25分閉会】**